

2012年荒川区議会第1回定例会がはじまりました(2/15~3/15)

負担増が次々…区の新年度予算案 くらし応援の対策を提案



増税・保険料値上げなど12億円超の負担増がくらしを守る自治体・区の役割が問われています

第一回定例会で日本共産党は、区民生活がたいへんな中、また大震災・原発事故後はじめての予算編成だけに、くらし応援 震災対策や原発ゼロへの取り組み「再開発」「箱もの」建設などの見直し、凍結を求める質問を行いました。とりわけ国の社会保障削減、庶民増税などによって、区の新年度予算案では、12億円を超える区民負担増となっています。特に子育て世代は、



2012年~くらし直撃の負担増…

《国の「税と社会保障の一体改革」での負担増》

年金 2012年中に
4月 0.3% 10月 0.9% 計1.2%削減
(来年も0.8%削減 その後毎年削減)
協会けんぽ、厚生年金保険料も値上げ
その後復興増税、消費税10%を狙う!

《荒川区新年度予算案に現れた負担増の影響》

子育て世代
年少扶養控除廃止、特定扶養控除縮小で
1万4千世帯 住民税約4億円の負担増
(子ども手当は減額…)
自営業者、高齢者など
国民健康保険料引き上げで5千5百万円負担増
介護保険料値上げ
65才以上の4万6千人 6億円負担増
後期高齢医療保険料値上げ
75才以上約2万人
1億7千万円負担増…などなど



子ども手当減額と扶養控除の廃止・縮小で増税。高齢者も年金削減に後期高齢医療や介護保険料値上げがくらしを直撃します。区として出来るくらし応援(下囲み)を求めました。また、震災対策や自然エネルギー導入は、きわめて不十分な予算です。今後予算特別委で追求していきます。

共産党区議団は提案します
生きがい奨励金 75歳以上に5000円
低年金者、無年金者の介護保険料対策としての手当月額2600円から4300円支給
年少扶養控除廃止・縮小の影響緩和として、高校生まで医療費を無料化
シルバーパス購入補助
…などです(詳細は裏面を)

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

456

2012年2月19日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
✉ arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページ・ブログをご覧ください。「横山幸次」で検索して下さい。

裏面 共産党の質問、
条例提案の内容など

定例法律相談

3月 5日(月)
午後6時~8時

横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。

生活相談は、随時受け付けています。

TEL&FAX 3895-0504

不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区役所控室 3802-4627



工事中の京成町屋駅舎

まちの話題あれこれ
京成線町屋駅の耐震工事と合わせて、券売機や事務室の移動工事などが進んでいます。券売機は、改札口の正面から以前京成トラベルがあった場所に移動。これまで駅事務室だったところは、工事用の防音シートがかけられています。京成駅の話では、その後の活用は未定であり、工事もまだのようです。都

券売機や事務室が移動…工事用シートの場所は何になる？

電通(補脚90号線)を延伸する道路用地として使うことはないのでしようか。いま高架下の「立ち退き」も終わっています。駐輪場整備とともに、以前のよくな活気を取り戻すプロジェクトを住民参加で起こすときではないでしょうか。横山幸次



6つの条例(5億円規模)を提出! 共産党区議団は積極提案で行います

共産党区議団が提出した6つの条例案は、その実現に5億円規模の予算が必要です。今後、2月27日から始まる予算に関する特別委に6条例案とあわせて不要不急の事業見直しなどの予算修正も提案して実現に向けて力をつくします。

区民アンケートの途中結果です ご協力ありがとうございます

多くのみなさんから回答を頂きました(上写真)。今回の質問でもくらしの実態やみなさん思いを届けて論戦を行いました。一部をご紹介します。

暮らし向き...「変わらない」39%、「苦しくなった」53%、「良くなった」2%

苦しくなった原因...「給料・売上げの減少」25%、「税・保険料の負担」25%、「医療・介護の負担」15%、「失業・倒産」10%、「子育て費用の負担」8%

これからの展望は?「明るい」4%、「どちらとも言えない」28%、「不安」68%

民主党のマニフェスト崩壊...「やむを得ない」17%、「当然の結果」18%、「国民の信頼を損なった」48%

直下型地震への備え...「備えている」5%、「ある程度備えている」52%、「備えていない」43%

今後の放射能対策...「放射能の測定・除染」34%、「自然エネルギーの普及」30%、「学校給食などの測



6条例案の概要です…ご意見をお寄せ下さい

生きがい奨励金条例

75才以上の高齢者
年間5,000円支給
2万人×5,000円
予算1億円

シルバーパス購入補助条例

課税によってシルバーパス購入が20,510円になる方へ15,000円補助(半年分の方は7,500)。
予算約2,000万円

重度要介護福祉手当条例

要介護4・5の方に
月額1万円の手当を支給
2,000人×12万円
予算2億4千円

介護保険料負担軽減手当条例

65才以上・収入120万円以下、貯蓄300万円未満の場合、手当月額2600円～4300円支給
低所得高齢者の介護保険料事実上無料化 予算8,000万円

住宅リフォーム助成条例

住宅リフォームを区内業者で実施する場合
リフォーム工事費の1割、20万円限度に助成
予算2,000万円(当初)

子どもの医療費条例「改正」

18才まで医療費無料化
対象4,416人 予算5,000万円
年少扶養控除廃止などで住民税増税分の一部補填

共産党代表質問の要綱

2月15日に日本共産党を代表して相馬区議が行った質問項目をご紹介します。

1、デフレ経済のもとで震災・原発事故後初の予算編成の位置付けを問う

(1)給与所得、売上げ減少、年金削減の中で年少扶養控除廃止をはじめ所得税、住民税増税、国保料、後期高齢者医療、介護保険料値上げ、消費税増税は、回避すべきと考えるがどうか。

また、何らかの生活支援の経済的助成策を求める。

(2)災害の備えと原発依存から脱却する地方自治体の取り組みが不十分ではないか認識を問う。4割の区民が「地震への備えがない」としており、家庭、マンション、職場に必要な備えのガイドラインを具体化し、木密地域や高層住宅向けなど実態に即した内容で啓発パンフを作成すること。合わせて、「防災への備え」の支援策を具体化すること。

(3)事務事業移管に伴う経費を財調算定に反映出来たのか。小中学校建替えや乳幼児医療費負担などの算定要求を算定協議で何故引き下げたのか?このような時こそ、オリンピック基金など都側の積み立てに回させず、区民生活優先の財源確保に力をそそぐことを求める。



(4)土地購入は必要最小限とし、大規模施設建設、三河島北、西日暮里駅前再開発を凍結すること。特に、荒川2丁目の複合施設は、建設時期を再検討し図書館建て替え中心に規模を縮小すること。

2、自然エネルギーの街、荒川を目指して

(1)荒川区内の電力消費量を変電所、地域単位で見える化を図り家庭への普及とともに区庁舎のスマート化を実施すること。

(2)区内消費電力66000k w/時の内、太陽光パネルや小水力発電、その他再生可能エネルギー活用の目標を設定し、自然エネルギー活用のPPS事業者育成の研究にも着手すること。

(3)区内放射能空気線量と学校・保育園給食の定期測定を実施すること。



3、子育て支援について

(1)引き続き保育園の増設をすること。

(2)新年度所得に応じた認証保育園保育料の助成については、保育室、保育ママも含めて統一的に助成を行うこと。

(3)西日暮里6丁目の株式会社の保育園計画については、保育の質を担保するために認証保育園誘致同様にプロポーザルなどを行うこと。

(4)幼稚園の誘致、増設を検討し、地域ごとに子育てできる環境をつくること。

4、路上喫煙防止対策を本気で取り組むこと